

西教寺進徳日曜学校だより

西教寺蔵本通支坊 2002.5.4. 呉市中央7-7-13

21-2798 E-mail:chinei63@enjoy.ne.jp

今日したこと

『仏教子ども新聞』
おいなるいのち
バランスは命
マッチ棒ゲーム

保護者のみなさんへ

親鸞さまのご生涯～「罪深さ」こそ～

親鸞さまは、生涯をかけて「人間の罪深さ」を問題にされました。先人は、仏法を聞くことを通して、いかに私たちが恐ろしい日常を送っているかを学んできました。現代の社会問題の背景に、現代の教育現場（家庭や学校）で「いのちの尊厳」つまり、人間は尊いものだとは教えますが、「人間がいかに罪深い（生活をしている）か」を教えなくなったことがあげられると思います。お寺で、子どもたちに「何が人間として恐ろしいことか」を教えられたらと思います。

ごうたんえ

降誕会奉賛ビンゴゲーム大会とミニミニコンサート

降誕会（ごうたんえ・5月21日）とは、真宗をお開き下さった親鸞（しんらん）さまのご誕生日のことです。

今年も、恒例になったビンゴゲーム大会を開きます。たくさんお友だちを誘って下さいね。今年は特に歌と詩の朗読のミニミニコンサート（劇団はぐるま座）があります。

日時：5月26日（日）

13時から15時ごろ

場所：西教寺蔵本通支坊（いつものところ）

会費：無料

内容 13：00 おつとめ

13：20 ミニミニコンサート

13：35 おはなし

（コンサートとお話は順番が逆になるかもしれませんが）

- - - 休けい - - -

13：45 時間があればゲーム

14：10 ビンゴゲーム

15：00 ごろ うた 恩徳讃・解散

締め切り：5月25日（土）

この日の日曜学校は13：00からにします。



子どもがウソをつくとき

（真田忠美『こころの扉を開く - 臨床心理学覚え書き - より』）

本来、人は嘘をつかない。もう少し厳密に言えば、「嘘をつかなくても不快なことにはならない、あるいは、嘘をつくことで特別に得をするわけではない、という場合には、人はわざわざ嘘をつくというようなことはしない」ということである。

嘘をついたり、秘密にする、ということは高度に精神的な作業であり、とてもしんどいものである。それゆえに何らかの事情がないかぎり、誰もわざわざ疲れるために嘘をつかないものである。本当のことを言うともっと疲れる、あるいはいやになるという事態に追い込まれたときに、人は嘘をつくのである。本当のことを言ったら叱られたという体験の積み重ねが、その子を嘘つきの子に育て上げていくのである。

子どもを嘘つきの子にしたくないならば、「子どもに無理やり何かを言わせた場合には、それがどんな内容であっても、決してそのことで叱ったり、折檻したりしてはいけない」ということである。つづく

この次は、**5月26日（日）13時～** です。

ともだちたくさん誘おうね！